

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2010-146379(P2010-146379A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2008-324146(P2008-324146)

【国際特許分類】

G 0 6 T 13/00 (2011.01)

G 0 6 T 13/80 (2011.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 13/00 C

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 7/137 Z

A 6 3 F 13/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月14日(2011.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 2】

【図 1】本発明の一実施形態に係るゲーム装置の外観図

【図 2】ゲーム装置の内部構成図

【図 3】フラッシュメモリのメモリマップ

【図 4】本発明に係る動画像生成装置の機能構成の一例を示すブロック図

【図 5】図 4 に示す動画像生成装置によって得られる画像の一例を示す画面図

【図 6】本発明に係る順方向の再生を行う動画像再生装置の機能構成の一例を示すブロック図

【図 7】図 6 に示す動画像再生装置によって得られる画像の一例を示す画面図

【図 8】本発明に係る逆方向の再生を行う動画像再生装置の機能構成の一例を示すブロック図

【図 9】図 8 に示す動画像再生装置によって得られる画像の一例を示す画面図

【図 10】図 4 に示す動画像生成装置の動作の一例を示すフローチャート

【図 11】図 10 に示すフローチャートのステップ S 1 0 1 において実行される初期化処理の一例を示す詳細フローチャート

【図 12】図 10 に示すフローチャートのステップ S 1 0 5 において実行される編集実行処理の一例を示す詳細フローチャート

【図 13】図 10 に示すフローチャートのステップ S 1 0 9 において実行される保存処理の一例を示す詳細フローチャート

【図 14】図 6、図 8 に示す動画像再生装置の動作の一例を示すフローチャート

【図 15】図 14 に示すフローチャートのステップ S 5 0 1 において実行される初期化処理の一例を示す詳細フローチャート

【図 16】図 14 に示すフローチャートのステップ S 5 0 9 において実行される順再生処

理の一例を示す詳細フローチャート

【図 1 7】図 1 4 に示すフローチャートのステップ S 5 1 3 において実行される逆再生処理の一例を示す詳細フローチャート

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 6】

図 9 (a) に示すように、後画像 6 0 0 には、地表画像 6 0 1、家画像 6 0 2、雲画像 6 0 3 及び自動車画像 6 0 5 が含まれている。図 9 (b) に示すように、差分画像 6 1 0 には、雲画像 6 1 4 及び自動車画像 6 1 5 が含まれている。図 9 (c) に示すように、補正画像 6 2 0 には、地表画像 6 2 1、家画像 6 2 2、雲画像 6 2 3 及び雲画像 6 2 4 が含まれている。すなわち、後画像 6 0 0 と、差分画像 6 1 0 との画素毎の E X O R をとることによって、後画像 6 0 0 に含まれる自動車画像 6 0 5 が消され、雲画像 6 2 4 が加えられて、補正画像 6 2 0 が生成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 1】

図 1 1 は、図 1 0 に示すフローチャートのステップ S 1 0 1 において実行される初期化処理の一例を示す詳細フローチャートである。まず、ステップ S 2 0 1 において、画像追加部 2 1 6 が、画像記憶部 2 4 3 に格納された画像情報を消去して、処理をステップ S 2 0 3 に進める。ステップ S 2 0 3 において、画像追加部 2 1 6 が、フレーム番号をカウントするカウンタであるフレームカウンタ F N の値を「 1 」に初期化し、処理をステップ S 2 0 5 に進める。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 3】

図 1 2 は、図 1 0 に示すフローチャートのステップ S 1 0 5 において実行される編集実行処理の一例を示す詳細フローチャートである。まず、ステップ S 3 0 1 において、編集実行部 2 1 3 が、タッチパネル 1 5 を介して、元画像をシフトする操作であるシフト操作を受け付けたか否かの判定を行う。シフト操作を受け付けたと判定された場合 (S 3 0 1 で Y E S) には、処理をステップ S 3 0 3 に進める。シフト操作を受け付けていないと判定された場合 (S 3 0 1 で N O) には、処理をステップ S 3 0 7 に進める。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 6】

図 1 3 は、図 1 0 に示すフローチャートのステップ S 1 0 9 において実行される保存処理の一例を示す詳細フローチャートである。まず、ステップ S 4 0 1 において、画像追加部 2 1 6 が、フレームカウンタ F N の値が「 1 」であるか否かの判定を行う。フレームカウンタ F N の値が「 1 」であると判定された場合 (S 4 0 1 で Y E S) には、処理をステ

ップ S 4 0 3 に進める。フレームカウンタ F N の値が「 1 」ではないと判定された場合 (S 4 0 1 で N O) には、処理をステップ S 4 0 9 に進める。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 1 】

次に、図 1 4 ~ 図 1 7 に示すフローチャートを用いて、図 6、図 8 に示す動画像生成装置の動作の一例を説明する。図 1 4 は、図 6、図 8 に示す動画像再生装置の動作の一例を示すフローチャートである。なお、ここでは、便宜上、図 4 に示す動画像生成装置によって予め動画像が生成され、画像記憶部 2 4 3 に格納されている場合について説明する。まず、ステップ S 5 0 1 において、第 1 データ読出部 2 1 7 等が、カウンタ等の値を初期化する処理である初期化処理を実行し、処理をステップ S 5 0 3 に進める。ステップ S 5 0 1 の処理が終了した場合、ステップ S 5 1 5 の処理が終了した場合に、ステップ S 5 0 3 において、第 1 データ読出部 2 1 7 が、タッチパネル 1 5 等を介してユーザからの操作入力を受け付けて、受け付けられた操作入力に基づいて、動画像再生処理を終了するか否かの判定を行う。動画像再生処理を終了すると判定された場合 (S 5 0 3 で Y E S) には、処理を終了する。動画像再生処理を終了しないと判定された場合 (S 5 0 3 で N O) には、処理をステップ S 5 0 5 に進める。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

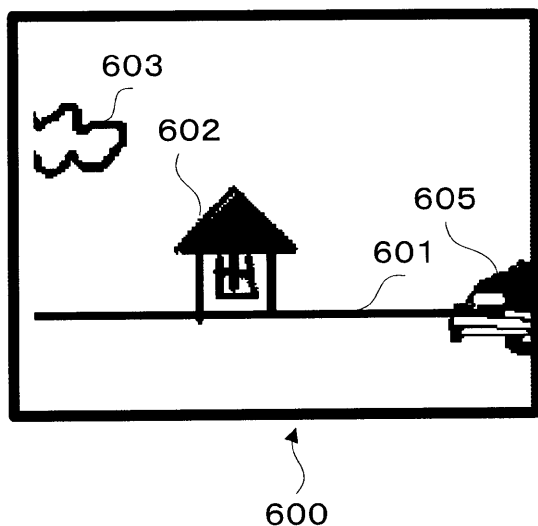
【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

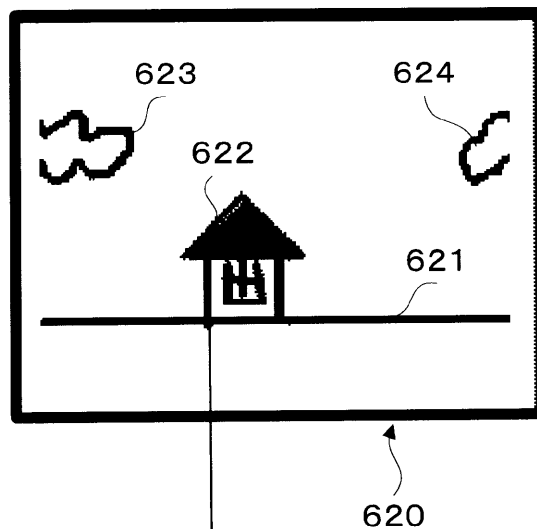
【補正の内容】

【図 9】

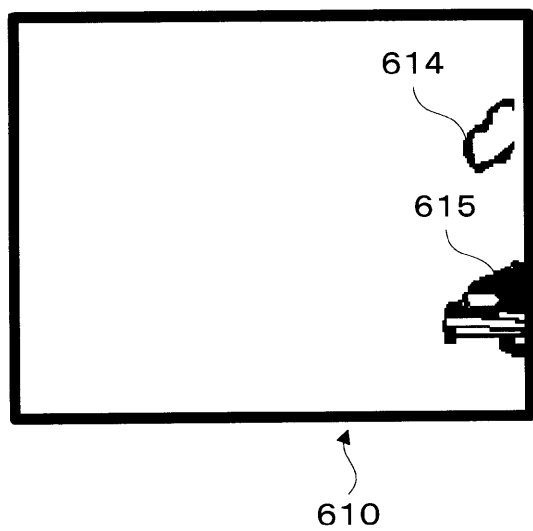
(a)



(c)



(b)



(d)

